

## 令和7年度 第2回学校運営協議会議事録

令和7年9月24日(水) 9:30～11:30

天竜特別支援学校 会議室

### 1 出席者

#### (1) 委員

木藤祐二氏、恩田斉氏、後藤幸一郎氏、宮地夏紀氏、堀内浩氏、山下広矛氏

#### (2) 学校関係者

校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高学部主事、訪問主任、教務課長

### 2 内容

#### (1) 校長挨拶

日頃から本校への御理解御協力ありがとうございます。

- ・危機管理について。9月の牧之原地区で発生した竜巻では、通学区が広範囲に及ぶ本校では、前日に高等部の休校の判断。小中訪問は、当日午後休校という判断をした。
- ・生成AIについて。教育現場でも活用が広がっている。担任の考えをベースに、様々な子供たちの情報をもとにした生成AIのデータを参考にしながら、幅広い視野で子どもたちを育てていく。

#### (2) 授業参観

高等部→中学部→小学部

ICT機器の活用した授業等を参観。

アバターロボット kubi の説明と体験（遠隔での授業体験）

#### (3) 学校経営計画前期の取組と評価（学校全体 教頭より）

- ・前期の取組（学校経営計画重点目標に対する取組を中心に説明）
- ・地域とのかかわり（活動の写真を提示しながら説明）

#### (4) 各学部の様子（学部主事より）

- ・小学部

現在19人在籍。

転入出の多い学部である。学習の積み重ねができていない児童が多い。地域交流の「マジックショー」赤佐11区の自治会長に年2回来ていただいている。「花いっぱい活動」では、児童たちが自分で花を選んで植えている。集団活動という貴重な体験活動となっている。「自立活動」は、自分のよさ、他人のよさに気づき、認め合うことを目標に教科とともに力を入れている授業である。

- 中学部

現在 17 人在籍。

地域交流では、赤佐 8 区シニアクラブの方 15 名とグラウンドゴルフの交流を行った。今年度は、体育の授業で単元を組み、競技の内容を調べ、来てくださった方々に発表した。シニアクラブの方に打ち方を教えていただくなどして休憩時間に交流する様子が見られた。また、遠州天竜太鼓龍勢組の方を講師に招き、和太鼓の交流を行った。音の過敏で入室できない生徒もいたが、技術はもちろん休憩時間も講師の青柳さんとの会話を楽しんでいた。活動の充実感からか授業後の感想発表では、発表が苦手な生徒も全員が自分の言葉で感想を言い合うことができた。「学部集会」は、今年度からの取り組みで、自分の居場所づくり、仲間意識、日常生活の広がりを目指して取り組んでいる。1 学期は、七夕、星座、防犯教育など生徒の実態と季節に合ったテーマで行った。これからも学部全体で取り組んでいきたい。

- 高等部

現在 40 人在籍。

天竜病院、天竜厚生会、天竜特別支援学校の三者が連携して地域の商業施設で「MEW FES (みゅうフェス)」を行った。それぞれの施設、事業所の啓発活動を協力して行った。天竜特別支援学校は、生徒会の生徒を中心に運営ボランティアとして参加し、ボッチャ体験を運営した。当日は、100 人以上が体験参加し、インクルーシブスポーツのボッチャを体験することができた。生徒たちは、浜北西高校の生徒との交流も行うことができた。「天竜高校二俣校舎の文化祭交流」では、生徒会同士の交流を行った。話が弾み、非常に良い機会だった。天竜高校で 2 学期行われる総合的な探求の時間にも参加予定である。「総合的な探求の時間」では、全学年「地域」がテーマとして取り組んでいる。1 年生は「みゅうの丘」、2 年生は「浜松と広島」の平和学習、3 年生は「浜松地区の探究活動」。3 年生は、今後全国の病弱特別支援学校と交流し、浜松の良さをアピールしたいと考えている。

- 12 病棟訪問教育

現在 17 人在籍。

気候の良い日は、積極的に外気浴を実施している。普段病棟で過ごす時間が多い児童生徒にとって、出会いのチャンスにもなっている。「スポーツ祭」では、動画を通じて本校生徒や先生と間接的な交流を行っている。「ICT を使った学習」では、タブレットを使って児童生徒に合わせた学習を行っている。「合同終業式」では、ホールに集まって儀式的行事を行っている。学部主事との交流などいつもと違う先生とのかかわりを感じる機会でもある。

(5) **意見交換**

① 地域とのかかわり

「コミュニティスクール3年目、さらなる深まりを目指して」

② これからの時代を生きていく子供たちにとって必要な力

「ICT活用、それ以外の学び」

委員 A…地域とのかかわりでは、近隣の高等学校との交流は、刺激的で非常に貴重な体験である。今後、企業の先輩たちの様子を見る活動等もしてみてもどうか。テレロボ (Kubi) を使った遠隔授業の取り組みも非常に有効的だと感じた。ICT の技能は、卒業後の進路先でも活用することができる。

委員 B…学校での様々な取り組みは、地域とのかかわりをとても大切にしていると感じた。ICT の活用については、天竜区内の 15 校の小中のほとんどが一人一台パソコンを使用している。今までできなかったことが可能になっていく一方で、機器への依存 (ゲーム) には注意が必要。家族ぐるみで昼夜逆転というケースもある。ただ、遠隔授業が可能なテレロボ (kubi) の使用で参加できるシチュエーションが増えると感じた。

委員 C…一番近い自治会赤佐 12 区をもっと頼っていただきたいと感じている。緊急時にいつでも子どもたちが駆け込める関係性を築いていきたい。12 区ではグラウンドゴルフを毎月実施していたり、自治会内で災害ボランティアに登録している人がいたり、災害の話や指導も可能なので、色々な面でサービスを提供できる環境が整っている。お声掛けいただければ、色々な面で一緒に活動していけると感じている。

委員 D…学校の特徴として、地域での認知が課題である。学校から地域の方へ出向いていくことも大切。ICT での授業づくりは、訪れる度に積極的に新しいことに取り組んでいることがわかる。板書の時間短縮にもつながる。少人数の良さを生かして、生徒との対話は怠りなくやってほしい。危機管理の面では、子どもたちに災害の情報を正確に伝えることは大切。牧之原の竜巻の新聞がタイムリーに掲示されていたは良いことである。また、ICT の活用については、今後不登校の子どもたちが家で授業が受けられるようになってほしい。

委員 E…天竜高校や MEW FES を経験することで、嫌がることなく当たり前のように交流活動などに参加できるようになり、このような取り組みに感謝している。運営委員の方々からの地域を頼ってほしいという思いやつながりに感謝している。遠隔授業が可能になったテレロボ (kubi) では、今の自分の状況に合

わせて授業参加の仕方を選べるようになっており、必要な時に必要なことを学習できる環境が整ってきていると感じている。

(6) **連絡事項**

○令和7年10月17日（金）9：00～12：20

第3回学校運営協議会（創立70周年記念式典/翔杉祭 自由参観）

○令和8年2月25日（水）9：30～11：30

第4回学校運営校議会・第2回コンプライアンス委員会